

第2回 JR笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会 [駅周辺の整備方針案の見直し]

笠岡市 建設部 都市計画課

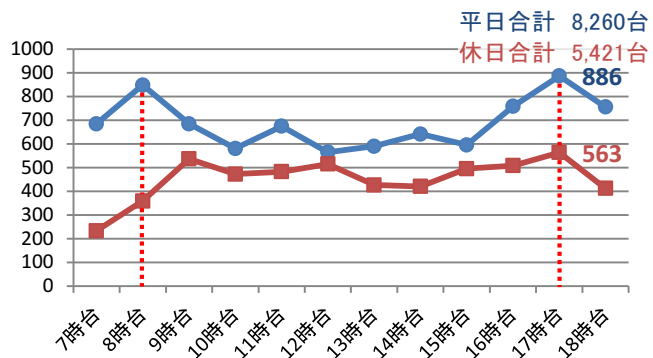
平成30年11月26日

※本資料は、本委員会での検討を目的としたものであり、地権者・事業者等の調整が未了の中で検討したものであることに留意し、取扱いには、注意をお願いします。

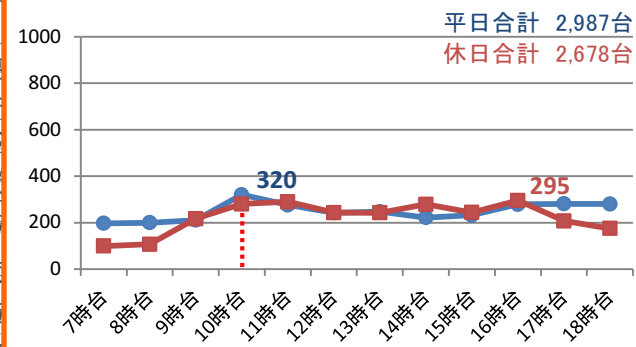
周辺道路の自動車交通状況(平日10/4・休日10/14)

・平日のピーク時間帯は、中央交差点では8時台と17時台、八軒屋一踏切および駅南通り三叉路では、10時台がピーク時間となっている

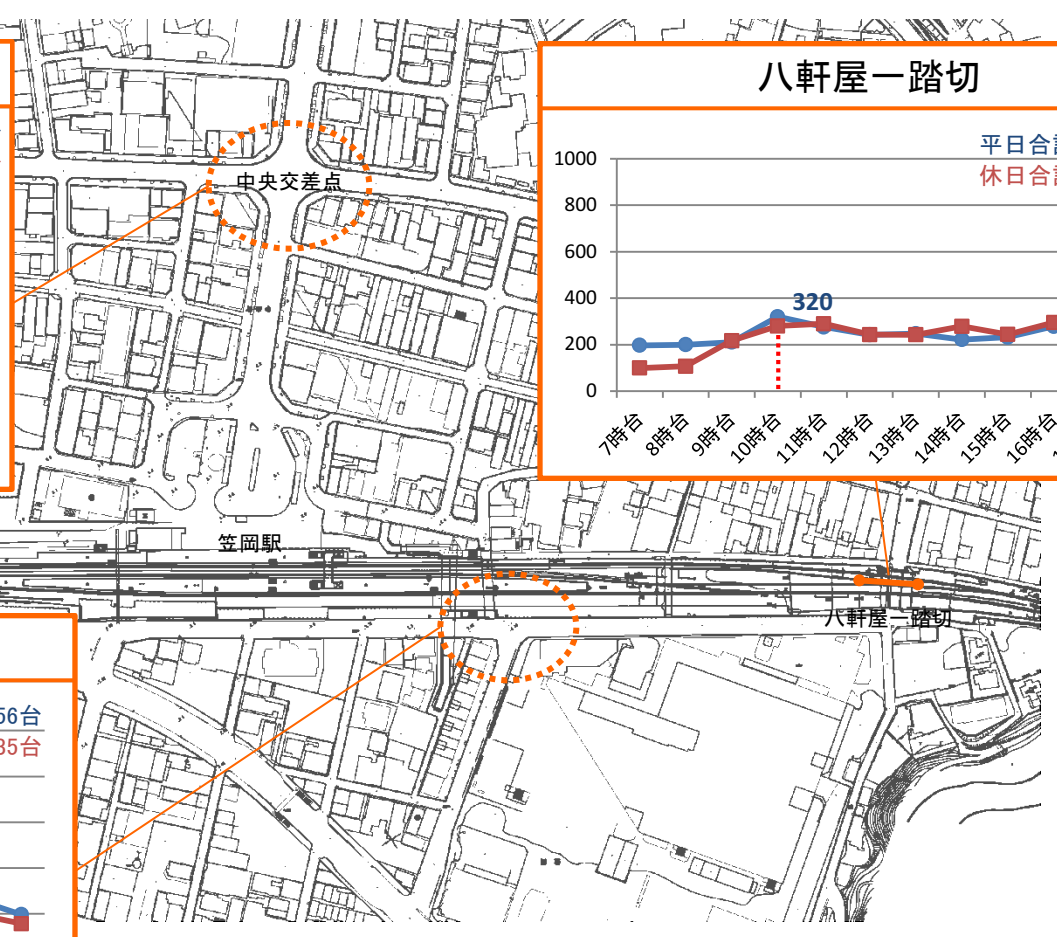
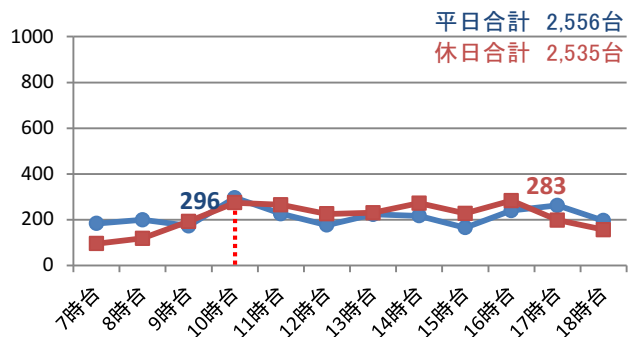
中央交差点



八軒屋一踏切

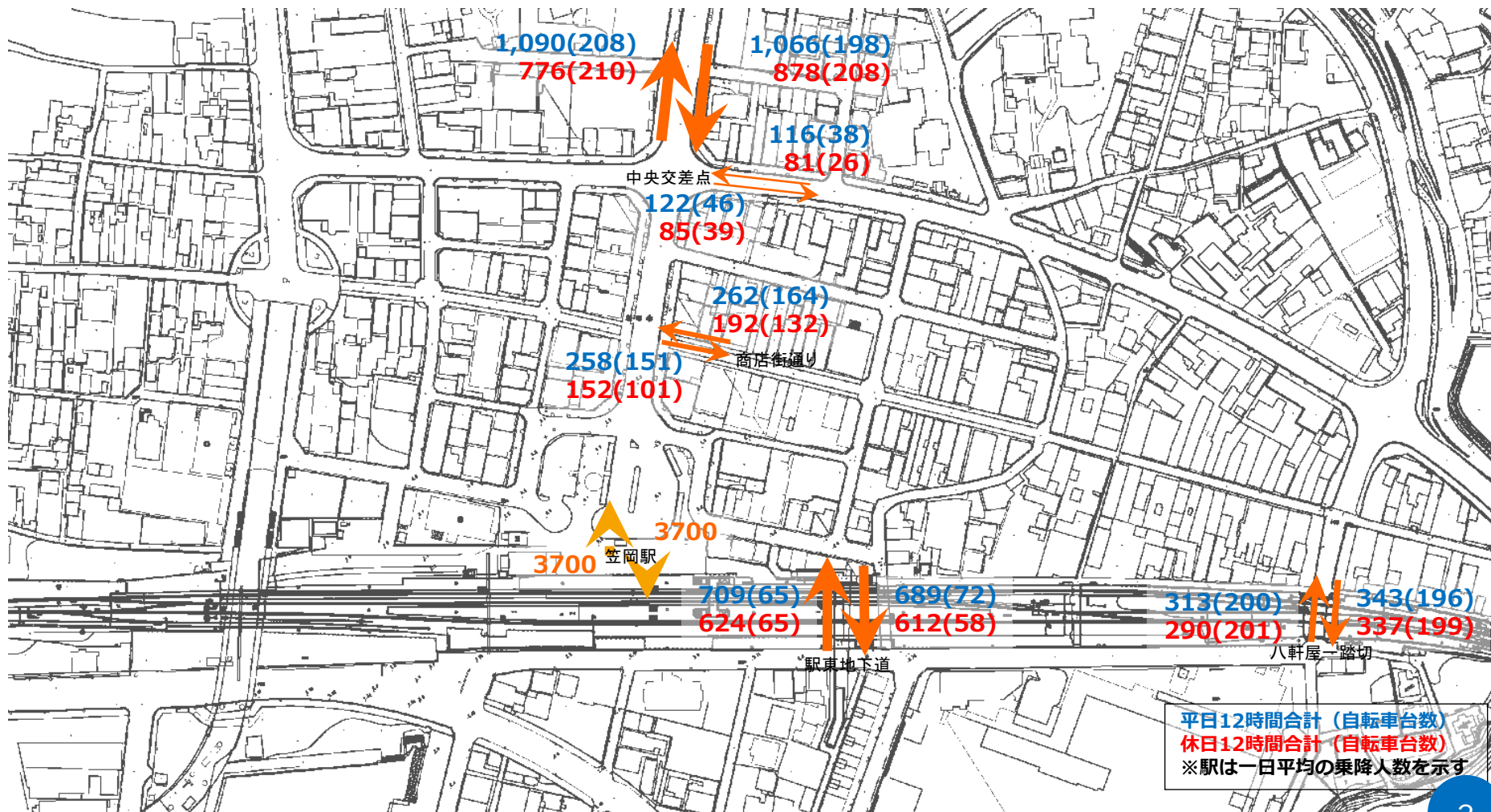


駅南通り三叉路



周辺道路の歩行者通行状況(平日10/4・休日10/14)

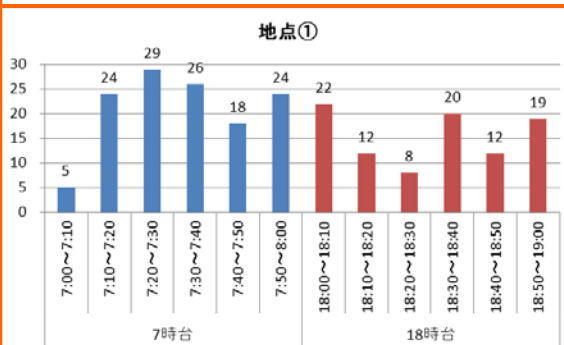
- ・平日の地下道利用者数は約1400人で、うち自転車利用者数は1割程
- ・八軒屋一踏切では利用者数約650人のうち自転車利用者数が半数以上を占めている



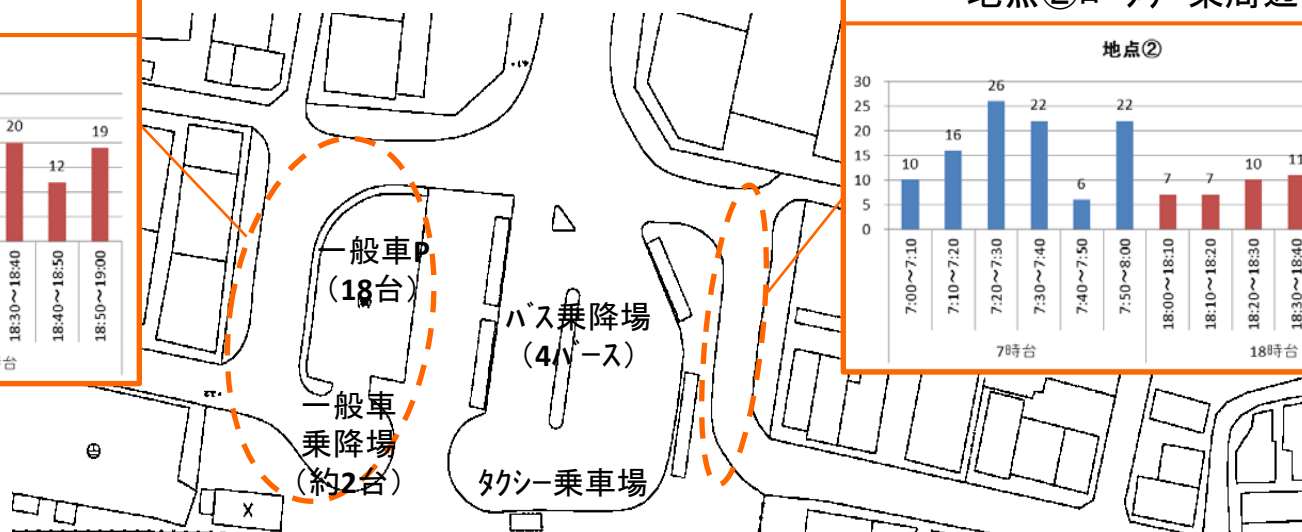
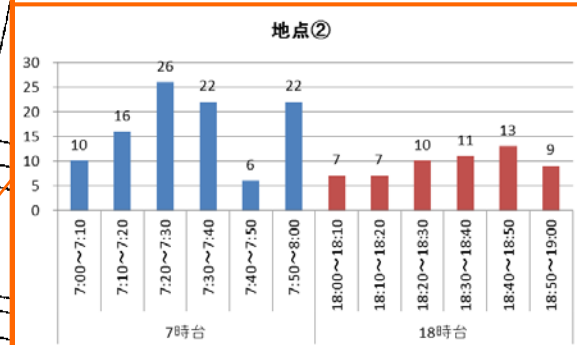
駅前広場の利用状況(平日10/4・朝夕ピーク時)

- ・平日ピーク時間帯の一般送迎車両の停車台数は、7:20~7:30の時間帯が最も多く、ロータリー周辺で29台、ロータリー東側周辺で26台
- ・駅南側の地下道出入口周辺では送迎目的の路上駐車が見られた

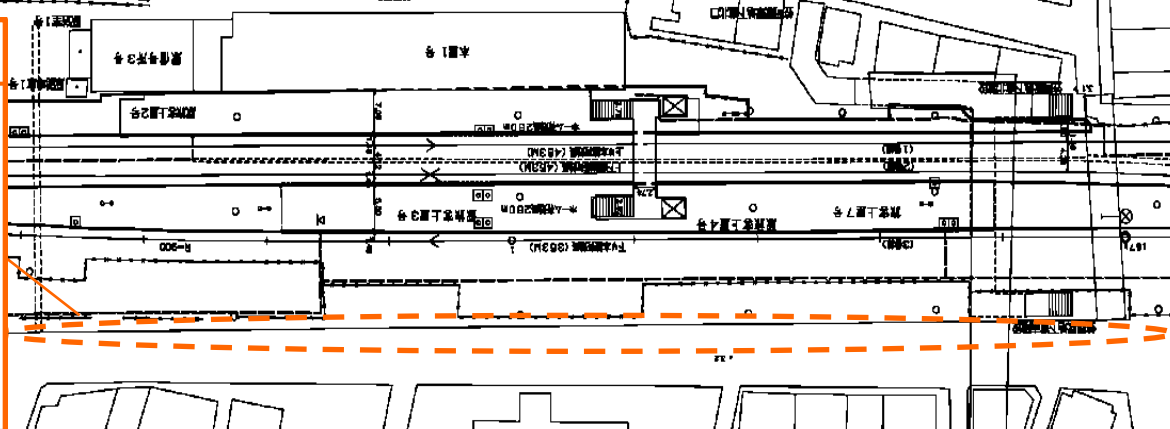
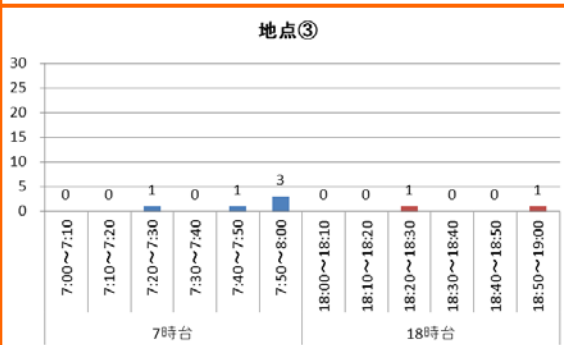
地点①ロータリー周辺



地点②ロータリー東周辺

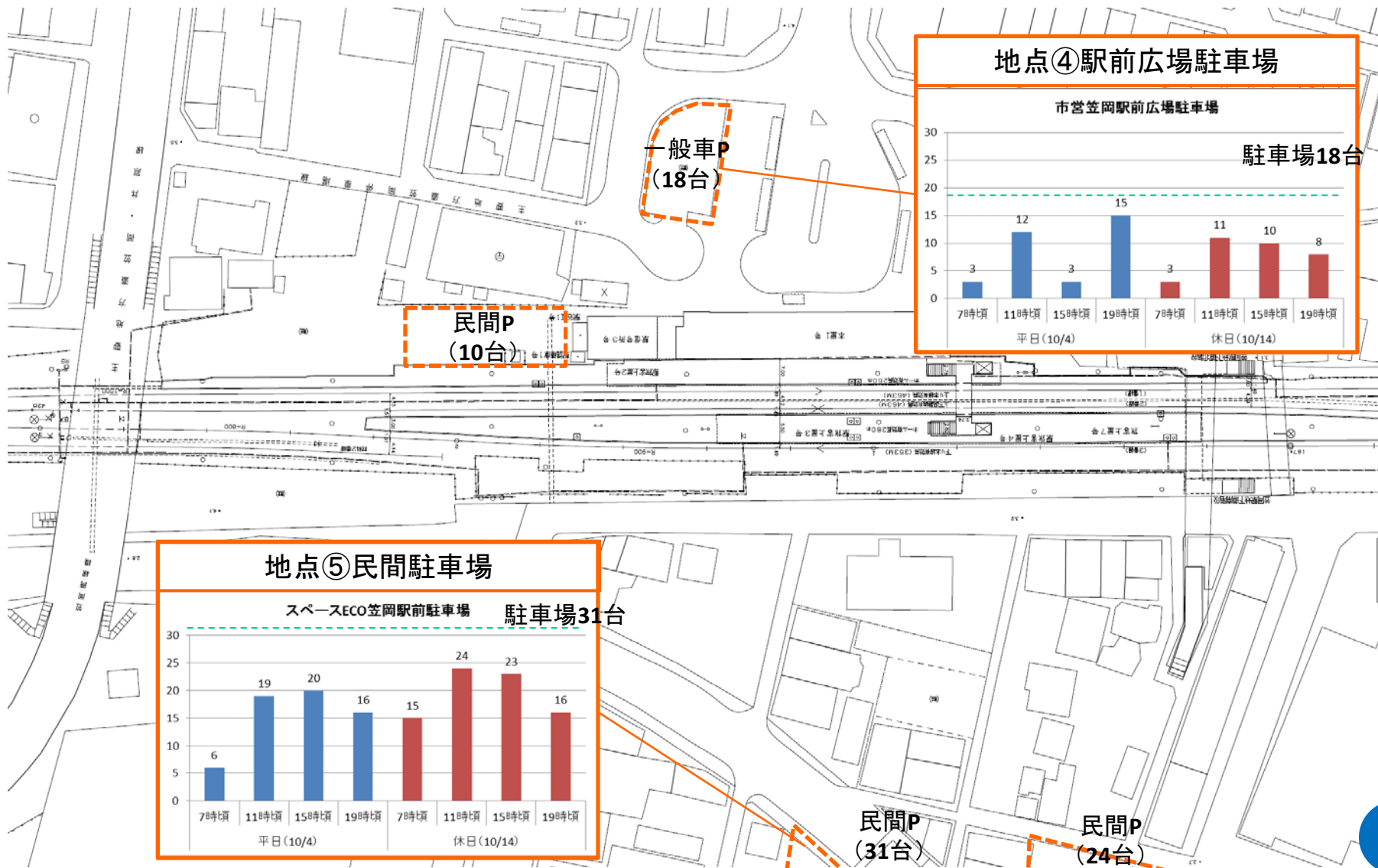


地点③地下道出入口周辺



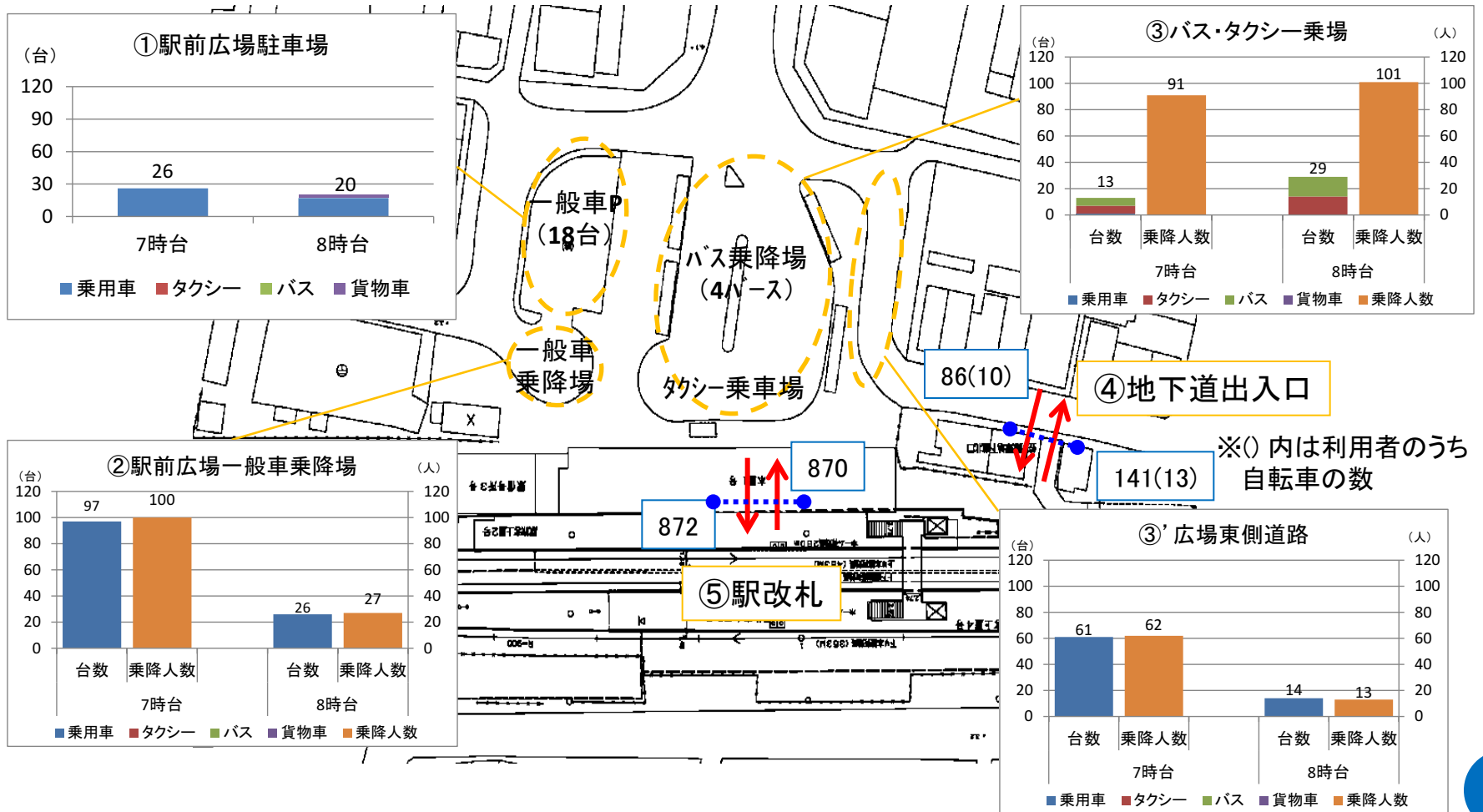
周辺駐車場等の利用状況(平日10/4・休日10/14)

- ・4時点(7時・11時・15時・19時)で観測
- ・駅北側にも駐車場はあるものの、南側の民間駐車場でも高い利用率が見られた。



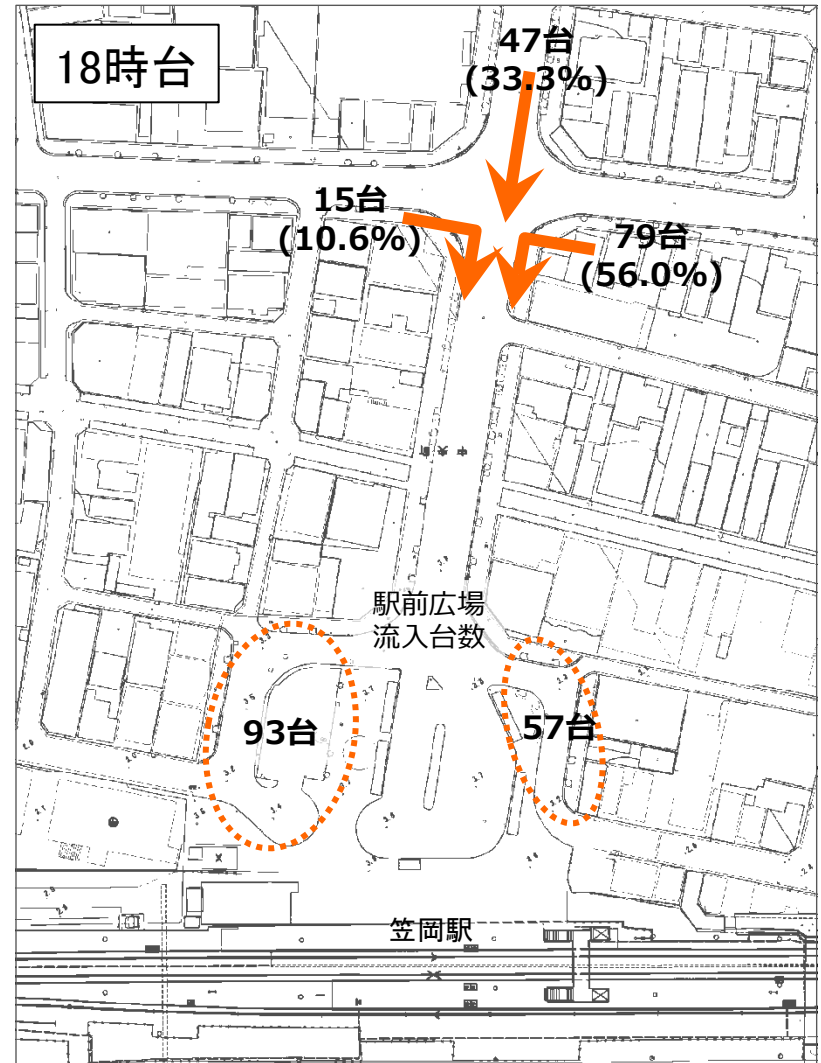
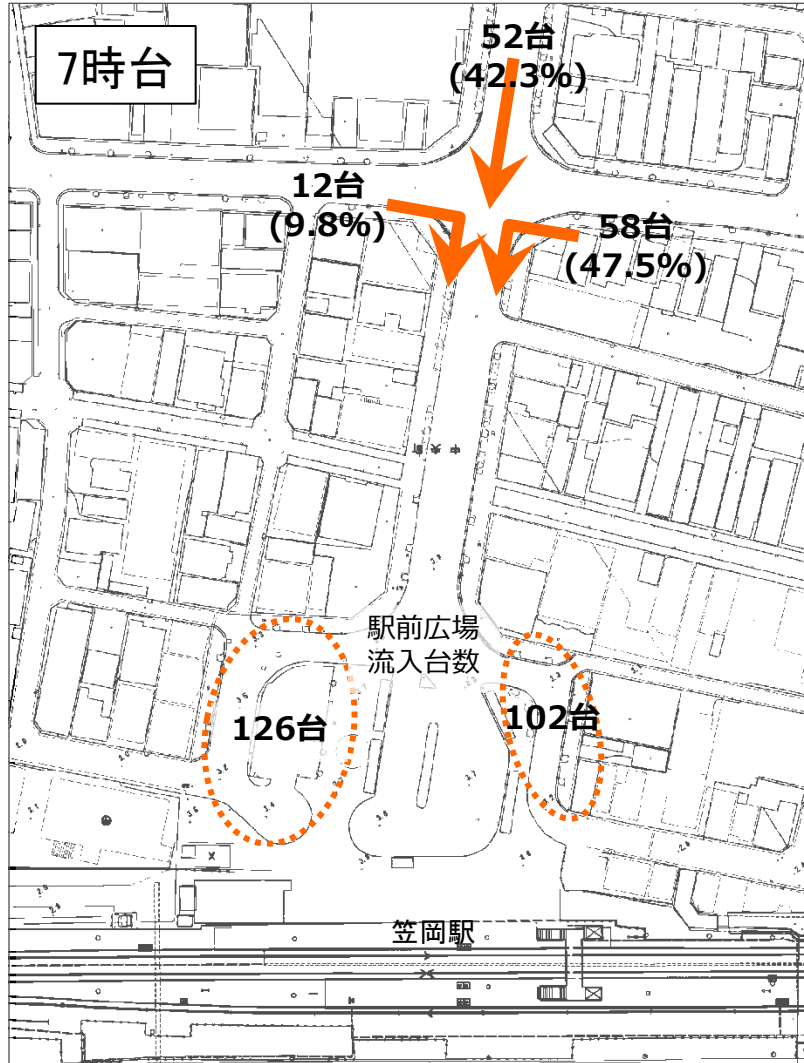
(参考) 駅前広場の利用状況(7/18・朝ピーク時)

- ・駅前広場の乗降場発着台数及び乗降人数調査、歩行者・自転車通行量調査を、7月18日(水) 7:00~9:00に実施した
- ・広場内での混雑は見られなかったものの、広場東側などの道路上で乗降のための停車があり(地点③)、通行車両の一時的な滞留が見られた。



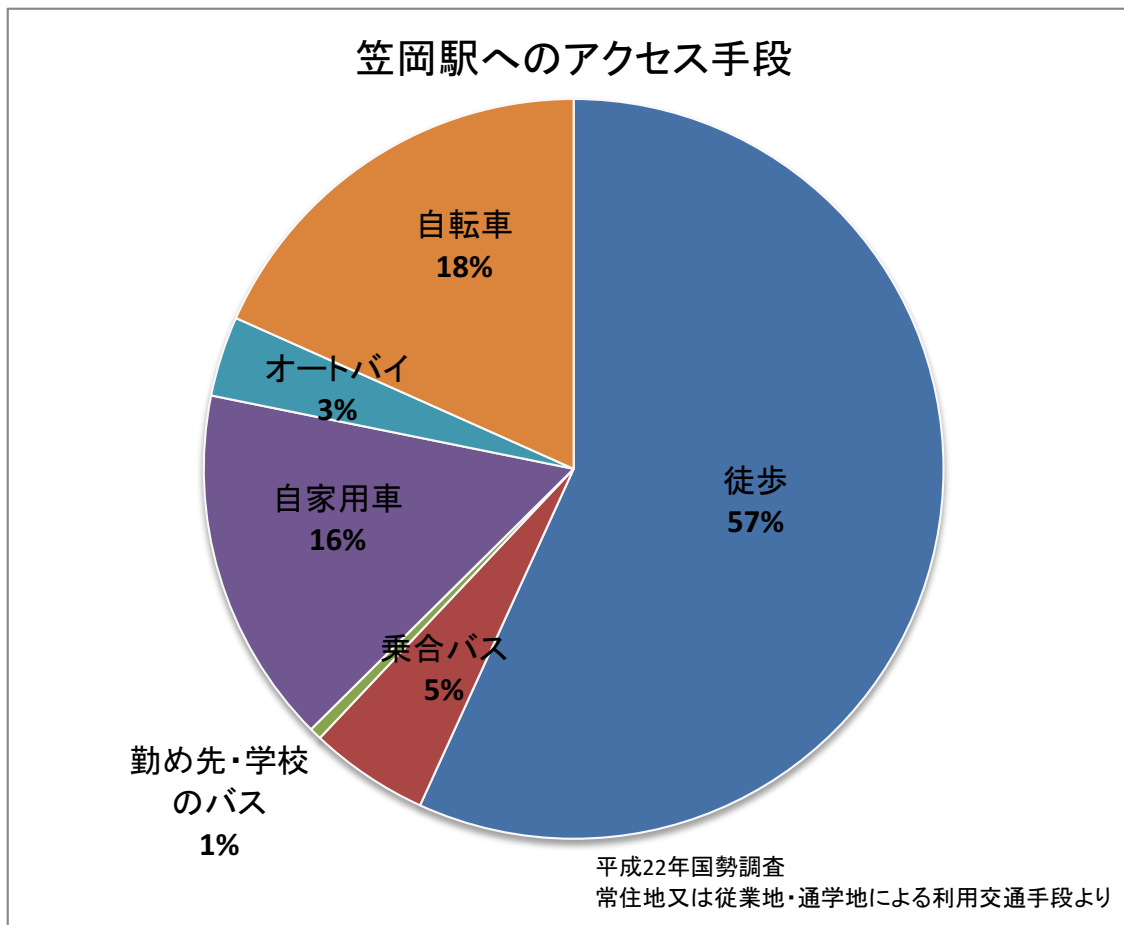
駅前広場への方向別流入状況(平日10/4)

・朝・夕ピークともに、東側からの流入台数が最も多く約半数を占めており、西側からの流入台数は1割程度



(参考) 駅へのアクセス手段

- ・平成22年国勢調査結果より、笠岡駅へのアクセス手段を推測すると、徒歩でのアクセスが最も多く約57%となっている。
- ・次いで、自転車、自家用車によるアクセスがほぼ同じ割合を占めており、自転車は約18%、自家用車は約16%となっている。



笠岡駅周辺の主な課題と対応策(見直し)

	問題点・課題	対応策・理想の姿
駅舎 RC造2階建て ホーム2面3線 (バリアフリー対応済)	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎は北側のみでバリアフリー未対応の地下道はあるものの南側からのアクセスが悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 南口改札の設置 ◆ 駅舎等の改良
北口広場 (約5400㎡) バス 乗降 4バス タクシー 乗車 1バス 待機 7バス 一般車 駐車場18台 降車 2バス	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場は北側のみだが、広域道路である国道2号は南側にある(西ノ浜交差点経由で駅に至るまでに5分程度のロスが生じる) バス・タクシーと一般車の分離がなされているが一般車の乗降バスが2バス程度であり、特にタピーク時には広場外での一般車の乗降が見られる <p>※H30.10調査結果から必要バス数を算定(平均停車時間を朝1分、夕3分と想定)</p> <p>朝ピーク228台/時→4バス 夕ピーク150台/時→8バス</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐車場は広場内18台(時間貸)の他、駅西側に約160台あり(月極駐車場が約9割) <p>※H30.10調査結果では駅南側の民間駐車場でも高い利用率がみられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐輪場は駅西から約200m離れた位置に約400台。駅近くには民間駐輪場あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 南口広場の整備 ◆ 南口からのアクセス改善 ◆ 北口広場の再整備 ◆ 駐車場の整備 ◆ 駐輪場の整備

笠岡駅周辺の主な課題と対応策(見直し)

	問題点・課題	対応策・理想の姿
駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> • 駅を挟んだ南北市街地がJR山陽本線、国道2号線によって分断されている(横断箇所は地下道、踏切等の3箇所に限られ迂回が必要) • 駅から東約60mにある地下道はバリアフリー基準を満たしていない(勾配12%(基準は5%以下)うえに防犯面等に不安がある) • 駅から港への乗り換え動線が分かりづらい(特に観光客) • 市民病院、笠岡シーサイドモール等の主要施設は駅南側に立地している • 駅周辺には月極駐車場は多数立地しているが時間貸駐車場が不足している • 駅南側の新交流拠点等の構想があるほか、官民連携による各種まちづくり事業が位置づけられている 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 南北自由通路の整備 ◆ 東地下道のバリアフリー化 ◆ 周辺施設への動線整備 ◆ 時間貸駐車場の整備
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 商店街や大規模商業施設の活力が低下している • 駅周辺を含む市全体の人口減少、高齢化が進んでいる • 空地、空き店舗が増加傾向にある 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 各種まちづくり事業の推進 ◆ 官民連携事業等の模索

笠岡駅及び駅周辺の整備方針(見直し案)

<課題>

- ・鉄道や国道2号により南北市街地が分断されている(横断箇所は踏切やバリアフリー未対応の地下道等の3箇所に限られ迂回が必要である)
- ・広域道路ネットワークである国道2号のある駅南側から駅へのアクセスが悪い(西ノ浜交差点経由で駅に至るまでに5分程度のロスが生じる)
- ・駅前広場が北側のみであることと、一般車乗降機能が不足していることにより、タピーク時を中心に一般車の送迎車が駅前広場及び周辺道路まであふれている
- ・駅周辺に時間貸駐車場があるものの利用勝手が悪く路上を利用されている
- ・駅から港への動線がバリアフリー未対応の地下道のみで分かりにくく、特に観光客には乗り継ぎ利便性が低い
- ・駅周辺は人口減少高齢化等により空き家や空地等が目立ち、商店街等の賑わいも欠け、地域活力が低下している



<整備方針(案)>

◎南北市街地の分断解消

- 南北自由通路の整備
- デッキの整備

◎南口からのアクセス改善

- 駅施設の整備・改良
- 南口改札の新設

◎交通結節機能の強化

- 南口広場の整備
- 北口広場の再整備
- 駐車場・駐輪場の整備

◎駅と港・商店街等との連携強化

- 歩行者動線の整備
- バス路線の検討

◎駅周辺のにぎわい創出、地域情報発信

- 各種街づくり事業の推進(別途)
- 官民連携事業等の模索

笠岡駅及び駅周辺の整備方針(見直し案)

